

生活文化常任委員会資料
2021年(令和3年)8月27日
市民生活局

市民全員・飲食店サポート事業にかかる事務について(現状報告)

8月11日に開催されました生活文化常任委員会において質疑のあった件についてご報告いたします。

1 配達について

●各社の配達の概要については下記の通りです。

会社名	サービス	配達期間	金額(税抜)
日本郵便	ゆうパック(対面式)	約1か月	1通438円 ※通常627.27円
ヤマト運輸(株)	金券の配送は不可	—	—
佐川急便(株)	セーフティサービス(対面式) ただし、30万人と規模が大きいので 直営ではなく委託業者を使い、配達 体制を整えるとのこと	100日程度と 考えられる とのこと	通常1通700円
日本通運(株)	セキュリティサービス(対面式) ただし法人から個人への配送は不可	—	—

2 世帯単位の配送について

- 世帯単位の配送については、1人世帯、2人世帯というようにソートをかけ、その人数分に合わせてチケット等を封入封緘する必要があり、作業が煩雑となり、一人ひとりに送付するより5倍近くの時間がかかるとお聞きしています。上記に関連して、選挙の入場券は独自のバーコード処理が施されており、対象者の整理は任意で行えますが、サポート券ではシステム上バーコード処理は行えません。
- 加えて、DVなど家庭事情への対応作業も煩雑になります。
- 届いた封筒で、1冊足りないなどの申し出が市民からあっても確認が困難であるという課題が生じます。
- なお、今回の配送にあたっては個人単位ですが、各世帯にまとめて配送するよう調整し配達期間の短縮を図りたいと考えています。

3 盗難防止策について

- 盗難防止策としてのナンバリング費用等については、通常のチケット印刷費用の1.3倍程度で、作成期間は2倍程度になるとのことです。
- ナンバリングを採用すると封入封緘時に宛名とチケット番号を一致させて送る必要があります。封入封緘時に1つでも間違いが起これば盗難防止策としての信頼を失うリスクが生じます。
封入封緘時の作業期間が2倍以上になります。

- これまでのサポート券事業では特定記録郵便を用いてポストへの投函を行いましたが、前回は盗難事案が164件発生しました。8万人規模で164件の比率で考えますと、30万人では600件以上の盗難事案が発生することになります。被害届や市への再発行の申請など市民の負担も少なくないと考えます。

4 消耗品の入札等について

消耗品等の内訳は以下の通りで、入札の必要な案件はありません。

- 店頭張り出し用チラシ印刷費／10万円以下となる見込みです。
- 換金用帳票印刷費／10万円以下となる見込みです。
- その他事務用品等。